



まちづくり検討会議

ニュースレター 大池地区 vol4

8月19日(土)に「第56回大池まつり」が大池小学校のグラウンドで開催されました。今回の大池まつりでは、市内大学に通う大学生と、大池一丁目自治会、大池二丁目東自治会が連携して、地域の方に楽しんでいただけるブースを企画・運営しました。学生と地域の方が力を合わせて活動した大池まつり当日の様子をまとめました。

まずはブースの設営からスタート

17時からのお祭りスタートに向けて、当日は15時頃から、学生と地域の方と一緒にブースの設営を行いました。「的あてゲーム」や「型抜きゲーム」で必要となる机や椅子を準備したり、8月5日(土)と6日(日)に学生と自治会の方、地域の子供達が協力して作ったかわいい看板や飾りつけを、テントに取り付けていきました。みんなで協力して、たくさんの看板や飾りつけを準備していたので、大池一丁目チームと大池二丁目東チームのブースは、お祭りが始まる前からとても賑やかで、楽しい雰囲気になりました。

この日は天気がよく、太陽の陽が降り注ぐとても暑い時間帯での準備作業でしたが、これまでの活動の中ですっかり仲良くなった学生と地域の方は、楽しそうに話をし、協力し合いながら、準備を進めていました。ブースの設営が終わった後には、受付から景品受け渡しまでの一連の流れや、役割分担などを最終確認し、いよいよ17時から「大池まつり」がスタートしました。



学生と地域の方が、協力して一緒に準備しました



両チームのブースとも、とても賑やかな雰囲気になりました！

大池一丁目チームの「的あてゲーム」

祭りがスタートすると、すぐに地域の子ども達がブースに遊びに来てくれ、17時半ごろには、既然大池一丁目チームの「的あてゲーム」のブースにも、大池二丁目東チームの「型抜きゲーム」のブースにも人だかりができていました。

一丁目チームの「的あてゲーム」は、丸めた新聞紙（1点）、靴下（2点）、サランラップの芯（3点）の3種類の中から、好きなものを1つ選んで、「茨木童子」や「ほっとけん！」などの茨木市のゆるキャラが書かれた的を倒すというゲーム。ブースの中には、的あてのレーンを3つ設け、それぞれのレーンに学生が入って、遊びに来てくれた子ども達にルール説明やアドバイスをしてくれました。

参加者の方には、参加賞としてお菓子がプレゼントされ、高得点者には学生手作りのアクセサリや、学生がこの日のためにデザインしてくれたオリジナルステッカー・シールなどがプレゼントされました。

豪華景品がもらえるということもあり、子ども達はすごく真剣な表情で的あてにチャレンジしていて、一番難易度の高いサランラップの芯で的を倒した時には、ブース内で歓声が上がっていました。

ブースには、絶えず多くの方が訪れ、大池地区のたくさんの方に企画を楽しんでいただくことができました。学生達も終始笑顔で、大池地区の子ども達との交流を楽しんでいる様子でした。



絵を書くのが得意な方、アクセサリ作りが得意な方が、得意分野を生かして、景品を作ってくれました！



最後には一丁目チームのみんなで記念撮影



開始30分後には既に人だかりが



学生と地域の方が一緒に作った的がブースに並びました



各レーンに学生が入って、ルール説明やアドバイスをしてくれました！

大池二丁目東チームの「型抜きゲーム」



子ども達は真剣にチャレンジ！
型抜きてけっこう難しい…



マジックハンドを使ったお菓子つかみ取りも大人気



各テーブルに学生が入って、
ルール説明や型抜きのコツを教えてくださいました！

二丁目東チームの企画は「型抜きゲーム」。「見たことはあるけど、やったことはないのでもってみたい」という企画会議での学生の発言から、チームのみんなで試しに遊んで見たところ、大盛り上がりしてお祭りで実施することになりました。

型抜きは実際にチャレンジするとかなり難しい上に、遊んでいる様子はかなり地味です。そこで、二丁目東チームでは、成功者が出たときは、太鼓やタンバリンを使ってブース全体で盛大にお祝いし、成功者には、学生がデザインした「みごと型を抜くことができたのでこれを賞します」という賞状のデザインのステッカーをプレゼントしました。

一丁目チームのブースと同様に、型抜きゲームのブースも大人気で、一時は列が会場中央に設置された櫓付近まで伸びていました。遊びに来た子どもは、型抜きを知らない子や初めて体験する子がほとんどでしたが、「型抜き楽しい！」「絶対成功したい！」と何度も列に並んで遊びに来てくれる子どもがたくさんいました。

二丁目東チームの学生は、型抜きのテーブルに入って、ルールの説明をしたり、子ども達に型抜きのコツを伝授したりしてくれました。もう少しで型を抜けそうという子どもがいると、近くにいる学生や地域の方も、一緒に型をのぞき込みながら応援していました。



型抜きのルール説明の用紙や、表彰状デザインのステッカーを学生が作ってくれました！



二丁目東チームも、最後はみんなで記念撮影

会場全体を使った新企画「人探しゲーム」

今回のお祭りでは、ブースから飛び出し、会場全体を使って子ども達に楽しんでもらう「人探しゲーム」という新企画も実施しました。

「人探しゲーム」は文字通り、お題用紙に書かれた仮装をしている大学生を、会場内で探して、スタンプを集めるというゲームです。「的あてゲーム」、「型抜きゲーム」は地域の方と学生が何度も打ち合わせをしながら一緒に考えたのに対して、「人探しゲーム」は学生が主体となって、学生同士で何度も打ち合わせをして、企画を考えていきました。

これまでの大池まつりでは無かった会場全体を使う企画ということもあり、この企画をするにあたって地域の方からは、「会場が混乱しないか」「他のブースに迷惑をかけないか」といった心配の声が上がっていました。そうした声を踏まえ、1回の参加人数は100人に限定し、17時15分からと18時15分からの2回、お題を変えてゲームを実施しました。

お題用紙を配りだすと、たくさん子ども達が用紙をもらいに来てくれ、1回目も2回目も、用意していた100枚の用紙はすぐに配り終えてしまいました。お題用紙を手に入れた子ども達は、仮装した大学生を見つけては、嬉しそうな表情で大学生に声をかけていました。



1回目のテーマは「クリスマス」
「プレゼント」と「南半球のサンタ」の仮装をしました



2回目のテーマは「海賊」、「ワンピースのルフィ」と
「フック船長」をイメージした仮装をしました



手作り看板で人探しゲームの
受付も飾り付け



「WANTED」風のお題用紙は
学生がデザインしてくれました

幕を閉じた大池地区と学生のコラボ

一丁目チームの「的あてゲーム」のブースも、二丁目東チームの「型抜きゲーム」のブースも、17時半ごろにできた行列は、受付を終了する20時ごろまで絶えず、大盛況の内に祭りは終了しました。両ブースともに400人以上の方が訪れ、ブース運営中とはとても慌ただしくはありましたが、地域の方と学生がうまく連携を取りながら、大きな混乱もなくブースを運営することができました。無事お祭りを運営し終えた学生は、「本当に楽しかった」「地域の方と一緒にお祭りを楽しむことができた」と、充実した表情で話をしてくれました。

今回、学生と地域のコラボによって、これまでになかった楽しい企画を祭りで実施し、大いにお祭りを盛り上げることができました。大池地区の「まちづくり検討会議」の取組みはこれで終了となりますが、今回活動に参加してくれた学生が、また大池地区で活躍してくれることを期待したいと思います！

次ページ以降、今回の活動に参加した学生と地域の方のコメントを掲載しています。⇒

参加者の声

大池まつり本番を終え、活動に参加した学生全員に、今回の「まちづくり検討会議」の活動を終えての感想をお聞きました。

大池地区の地域の方々は皆さんとてもフレンドリーで、私たち大学生に対しても終始温かく接してくださいました。会議からお祭り当日まで全体を通して楽しみながら参加することができました！短い期間でしたが本当にありがとうございました。ぜひ来年も参加させていただきたいです！



立命館大学 赤井さん

茨木市のことをもっと知りたい、地域の人と交流したいという思いから参加して、想像していた以上に大池地区の方々、他大学の学生さんと交流する機会が多く、とても有意義な取り組みになりました。また、提案したアイデアがお祭りのブースの1つとして、みんなに楽しんでもらっていることに感動しました。



立命館大学 秋田さん

みんながたくさん話しかけてくれたり、お菓子や飲み物をたくさんくださったりして、嬉しかったです。また、案を考えたり、看板等を作ったりした時間も楽しかったです。一方で、上手く話せなかったり、役に立っているか分からなかったりして、心が沈む時もありました。しかし、全部含めて夏休みの思い出になりました。



追手門学院大学 上岡さん

大池まつりの活動を通し、自分の提案が実現されることの喜びや、生まれも育ちも違う皆さんと地域のお祭りを協力してつくりあげる新鮮さややりがいを実感しました。コロナにより色々な方々との密な関わりが少なかった分、改めてこの活動に参加したことで、もう一度人の温かみに気づくことができた貴重な思い出です！



立命館大学 上森さん

今回案の出し方や、企画から運営までの流れなど様々な事が学べました。地域活動に関わるのが初めてで緊張しましたが、地域の方は皆優しく接してください、学生の奇想天外な案にも面白そう！など言ってくれて下さって、場の雰囲気が良く意見もとても出しやすかったです！当日もみんなが率先して作業をしてくださり、子ども達と接しながら楽しく案内することが出来ました！



追手門学院大学 奥さん

地域の方や他校の学生の方とお祭りの企画から運営までを行い、様々なことを学ぶことができました。各会議では、参加者全員が集まることは困難でしたが、お祭り当日は全員でブースを作り上げることができ、とても嬉しかったです。また、来てくださった方に楽しんでいただけて、やり甲斐を感じました。この活動で学んだことを今後に活かしていきたいです。



追手門学院大学 嶋本さん

地域の方と活動するのは初めてで、最初は緊張していましたが、気さくに話しかけてくださる方が多く、楽しみながら参加できました！お祭り当日は、的当てにたくさんの人が来てくれて、とても充実した活動でした！また、学生同士で説明・回収・自由時間で分割してシフトを組み、スムーズに回すことができて良かったです！



立命館大学 下浦さん

まちづくり検討会議に参加できて良かったです。全てに参加することはできなかったですが、普段話すことのない他の大学の方や、地域の方など色々な方と交流を深めることができて良かったです。まとめるのが難しいくらいにたくさんの意見が出て、「お祭りに来る方が喜んでくれるか」を忘れずに活動できたことは良かったです！



立命館大学 新宅さん

私は大池地区での活動を通して、第二のふるさとに出会いました。全体会議では、地域の素敵な皆様が私たち学生を温かく迎え入れて下さりました。またお祭り当日には、たくさんの地域の子も達が祭りに遊びに来て下さり、その笑顔と喜びの姿に心から取り組みに対してのやりがいを感じました。



立命館大学 瀧さん

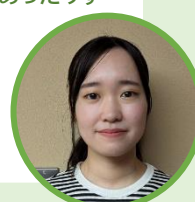
私は大池地区の活動に参加して地域と学生が一緒になって活動し、企画から実施まで協力して一つの形を作るということに感銘しました。

また、大学生としての役割や考えを地域に落とし込み、今までの経験などが活用され、チームの皆様と共に非常に有意義な時間を過ごすことができました。



追手門学院大学 田邊さん

今回大池地区のお祭りに携われて本当によかったです。初めは地域の方や他大学の学生さんと話せるが緊張していましたが、あだ名で呼びあったりするうちに打ち解けることが出来たと思います。普段生活していて、地域の方と関わる機会はあまり無いため、貴重な体験が出来ました。ありがとうございました。



立命館大学 中村さん

今回大池地区での活動に参加させていただいたことで人と関わることで、共通の目的に向かってみんなで行き届くことの大切さを改めて実感することができました。また地域の方が温かく迎えてくださったことで、大池まつり当日だけではなく、それまでの準備も楽しむことができました。



立命館大学 森さん

知らない地域で、違う学校の方と活動するので、戸惑いもありましたが、回を重ねるにつれて、現実味が増えてきて本番が待ち遠しくなりました。本番は説明係や仮装など、様々なことをさせてもらい、祭りが終わった頃には、達成感を今年で1番感じ、2ヶ月近く準備していたことが終わるのが寂しくも感じました。とてもいい経験をさせてもらったと思います。



追手門学院大学 山口さん

日程があわず、最初の企画会議に参加できなかったことが少し悔しかったです。自分達で話し合った企画で子ども達が楽しそうにしてくれたのを見て、やった甲斐があったと思いました。また、自分達が作成した資料が実際の祭りで使われたのが嬉しかったです!! また、ぜひ参加したいです!!



追手門学院大学 山本さん

私は今まで地域活動にあまり参加したことがなく、初めてお祭りの企画から運営までを経験しましたが、とても貴重な時間だったと感じます。お祭りが終わったあとに、地域の方が「自分の地元だと思っていつでも遊びに来てね」と言ってくださったのがとても嬉しかったです。



追手門学院大学 若狭さん

活動にご協力いただいた「大池一丁目自治会」と「大池二丁目東自治会」の方にも、今回の「まちづくり検討会議」の活動を終えての感想をお聞きしました。

市内にある大学生とコラボしての夜店出店は、新しいアイデアが盛りこまれ、「的あて」「人探し」ブースでは、子ども達の大きな歓声や笑い声が溢れ、4年振りの大池まつりに新風を巻き起こし、多くの来場者が喜んでいました。まちづくり検討会議に参加された学生さんに感謝するとともに、この繋がりが来年以降も続くことを期待しております。

大池一丁目自治会 佐藤さん

学生さんと一緒に考えたお店は、当日は大盛況で長蛇の列ができ大忙しでした。予想外の事もお互いに声をかけあって対応し、一致団結して楽しかったです。学生さんも、声が枯れるまで「型抜き」の説明や誘導をしてくれて盛り上げてくれました。仲良くなったので、終わりかと思うと寂しいです。

大池二丁目東自治会 斉藤さん

4年ぶりの大池まつりを、子ども達は楽しみにしていました。今までにない新しいアイデアを取り入れて子ども達が楽しめる祭りを考え、大池二丁目東自治会は「型ぬき」「お菓子すくい」、大池一丁目自治会は「的あて」を大学生と共に考え、作成しました。どちらも長い列が出来、賑わいました。大池まつりを通じて、協力して頂いた学生に、新しいふるさとを感じて頂ければ幸いです。

大池一丁目自治会 竹内さん

心配していた「型抜き」が学生さんの奮闘で、順調に進み大変助かりました。6月の準備段階の打合せから、若い学生さんと地域の中堅所やシニアに至る各世代が一緒になって相談を重ねたことが、成功につながったと感じています。夏休み返上で学生の皆様、「地域と大学生」をつないで頂いた市役所の皆様、本当にお疲れ様でした。

大池二丁目東自治会 樋口さん

学生さん達と地域の人達から次々と出てくるアイデアに、活発にワイワイガヤガヤという意見が出て、試作してやがて形になっていく様子は人の輪(和)の力や皆で一つの事を作り上げて行く喜びを感じ、心から楽しんでいる姿が印象的でした。当日の子ども達の嬉しそうな顔、学生さん達の活き活きとした表情がとても心に残ります。

大池一丁目自治会 加藤さん

企画段階では、学生さん達が得意な事で力を発揮され、祭り当日は型抜きコーナーや人探しで盛り上げて下さり、感謝しております。型抜きでは成功した子もそうでない子も笑顔で参加賞を受け取っていて、久しぶりの大池まつりでたくさんの子どもの笑顔が見られてとても嬉しく思いました。ありがとうございました!

大池二丁目東自治会 小園さん